

MEDIASITE MB500

電子ペン (TYPE500) 補足説明書

目次

はじめに_____	
電子ペン各部の名称_____	1
スイッチ、ボタン操作と電池交換の説明です。	
タッチパネルの基本操作_____	2
電子ペンと指での操作法の説明です。	
電子ペン機能の設定_____	4
電子ペンを活用する設定の説明です。	
こんなときには_____	6
電子ペンや指で操作中の対応の説明です。	

本冊子は、リコーメディアサイトMB500の「電子ペン」に関する補足の説明書です。





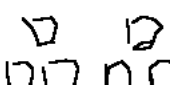







メディアサイトMB500をご使用の際には、機器に付属している「使用説明書」を必ずお読みの上、正しくお使いください。

本冊子は、リコーメディアサイトMB500の「電子ペン(TYPE500) 補足説明書」です。

メディアサイトMB500を安全に正しくお使いいただくために、機器に付属の「使用説明書」を必ずお読みください。
機器の「使用説明書」は、すぐに利用できるように保管してください。

はじめに

「電子ペンを使うと自然な筆記操作ができ、文字を忠実に再現できます。」
電子黒板ソフトのペンとしてマーカーやチョークと同様の感覚で文字などを書くことができます。スクリーン(タッチパネル)で自然な筆記操作が行え、特に文字を書くとかすれや尾びきが目立たず忠実に再現することができます。

	【筆記例】		左:電子ペン, 右:指	
Aさん				
Bさん				
Cさん				

・ペンモードを利用すると・



- 電子ペンで板書
 - 手や指し棒で説明
- このような使いわけた利用ができます。

〔ペンモードは、指先などには反応せず、電子ペンでのみタッチ・ドラッグ・筆記の操作が行えます。〕

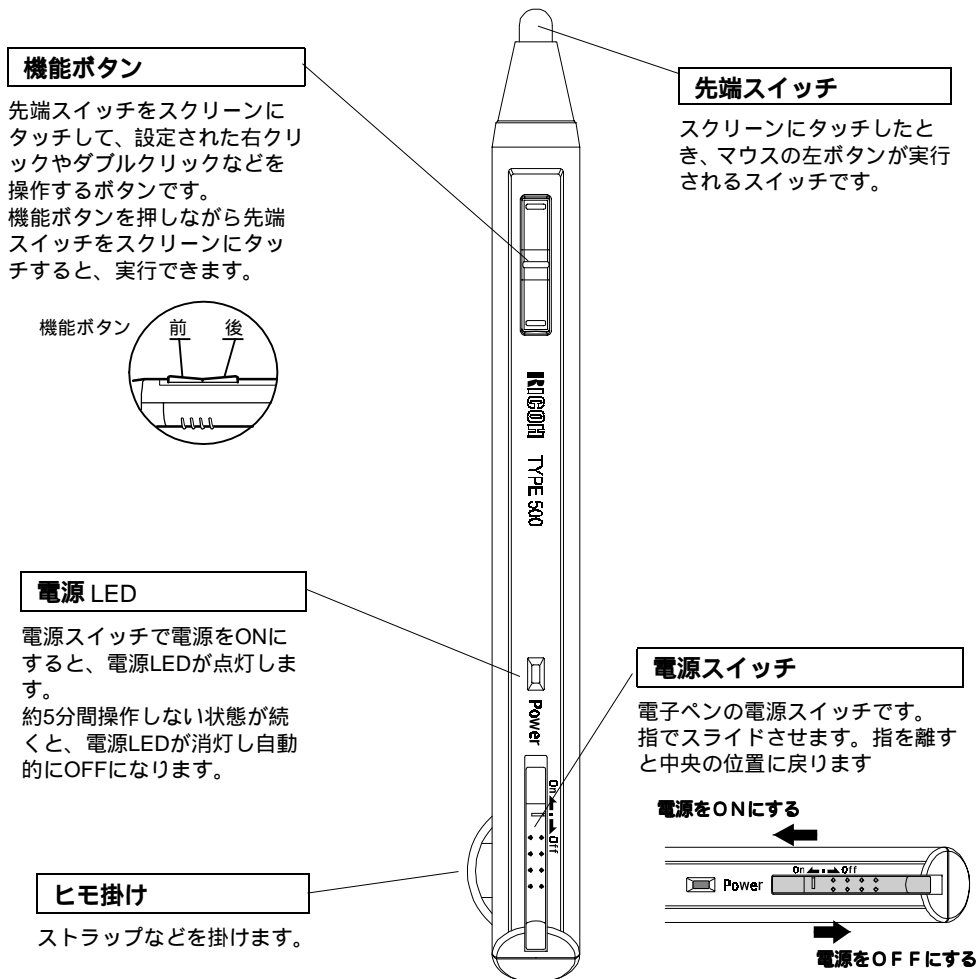
「電子ペンを使うとすべてのマウス操作が行えます。」
ペンモードを利用すると機能ボタンの前・後ボタンに「右クリック」や「ダブルクリック」などの操作を割当てることができます。
先端スイッチと機能ボタンを併用して、マウス操作が行えます。

安全上の注意

電子ペン(TYPE500)は、電池を用います。次の内容をお守ください。

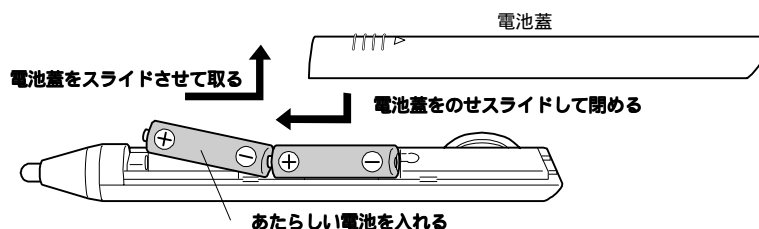
- | | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">・電池は、リコー指定のものを使用してください。指定以外の電池は使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。・電池を電子ペン内に挿入する場合は、+と-の向きに注意し、電子ペンの表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因になります。・電池のアルカリ液が皮膚や衣服に付着した場合は、多量のきれいな水で洗い流してください。炎症などの原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・破裂の恐れがありますので、充電、ショート、火中に投入、加熱、分解しないでください。・新しい電池と、使用した電池や異種の電池を混用しないでください。 |

電子ペン各部の名称



電池の交換

電池は、1.5V LR03型 単4のアルカリ乾電池 2本です。寿命は、筆記する使い方では約3ヶ月です。+/- 側を確認して、新しい乾電池を挿入します。

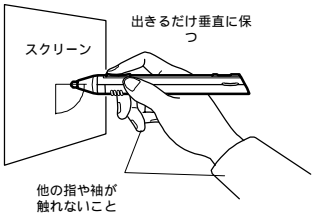
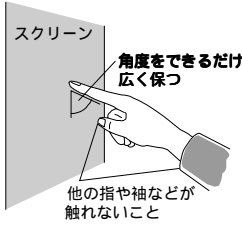
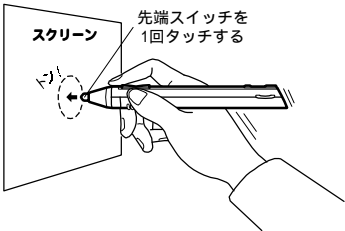
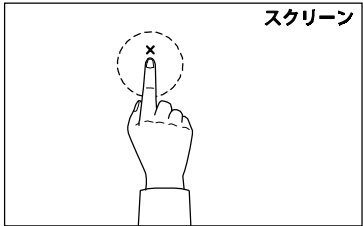
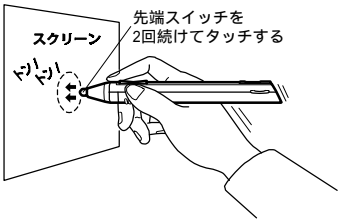
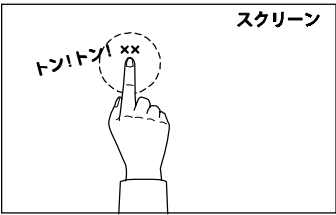


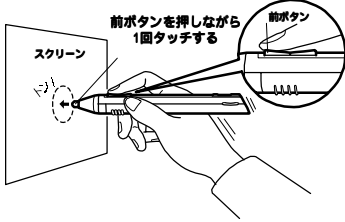
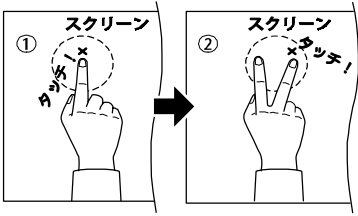
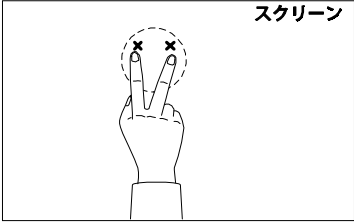
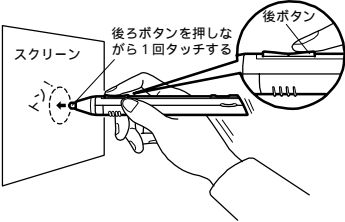
タッチパネルの基本操作

タッチパネル機能を利用すると、指や付属の電子ペンでPCの操作・アプリケーションをマウスで行うように操作できます。電子ペンの先端スイッチには、マウスの「左ボタン」が設定されていてスクリーンにタッチして使います。

ペンモードでは、機能ボタンの前・後ボタンに「右クリック」や「ダブルクリック」などの操作を割り当てることができます。先端スイッチと機能ボタンを併用して、マウス操作が行えます。

また、電子ペンは電子黒板のペンとしてマーカーやチョークと同様な感覚で文字などを書くことができます。スクリーン（タッチパネル）で自然な筆記操作が行え、特に文字を書くとかすれや尾びきが目立たず忠実に再現することができます。

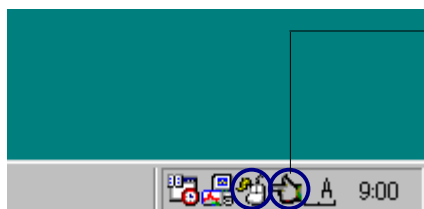
	電子ペンでの操作	指での操作
タッチのしかた	<p>電子ペンをスクリーンに対して立ててご使用ください。</p> <p>線を引くような動作もスクリーンとの角度を保ったまま動かしてください。</p> 	<p>指先をスクリーンにできるだけ直角になるように立てて当てます。</p> <p>線を引くような動作もスクリーンとの角度を保ったまま腕を動かしてください。</p> 
左クリック	<p>先端スイッチをスクリーンに1回タッチします。</p> 	<p>指先をスクリーンに1回タッチします。</p> 
ダブルクリック	<p>ペンに先端スイッチでスクリーンのある一定範囲以内で連続して2回タッチします。</p> <p>2回タッチする位置のズレと速度を設定することができます。</p> 	<p>指でスクリーンのある一定範囲内で連続して2回タッチします。</p> 

<p>右クリック</p>	<p>《ペンモード》</p> <p>右クリック操作が設定された機能ボタン（標準設定では前ボタン）を押しながら、先端スイッチを1回タッチします。</p> 	<p>スクリーンのある位置を1回タッチしたまま、違う指でその横を1回タッチします。</p> 
<p>同時タッチ リコーライクなメニューがポップアップします</p>	<p>《ペンモード》</p> <p>機能ボタンに「同時タッチ」を設定することができます。</p>	<p>2本の指を開いて同時に2ヶ所タッチします。</p> 
<p>電子ペンによるさまざまなクリック操作</p>	<p>《ペンモード》</p> <p>[後ボタンを使用したクリック操作]</p>  <p>標準設定では「ダブルクリック」操作になります。</p> <p>[ホイール操作]</p> <p>ホイールが設定された機能ボタンを使用すると、マウスホイールボタンを回転させたときと同じ操作ができます。</p> <p>ホイール操作が設定された前ないし後ボタンの機能ボタンを押しながら、先端スイッチを1回タッチしてそのまま上下にドラッグします。</p>	

電子ペン機能の設定

タッチパネル機能の動作状態インジケータ

タスクトレイにつぎの2種類のアイコンが表示されています。



電子ペンのアイコン



指や電子ペンでのクリック操作ができます。



ペンモードです。指での操作はできません。

電子ペンで機能ボタンも使ってマウス操作ができます。

左ボタンのアイコン



指や電子ペン先端でクリックができません。



左クリック操作ができます。

左ボタンのON/OFFを切り替えるには、同時タッチ機能で行います。

タッチパネル機能と状態の設定は、次の方法で [RICOH MEDIASITE MB500のプロパティ] ダイアログを起動しておこないます。

コントロールパネル中の「MB500の設定」の実行。

または

タスクトレイの電子ペンのアイコンをダブルクリックして実行。

[電子ペン設定] ボタンを押すと [電子ペン設定] ダイアログが表示されます。

電子ペン設定：ペンモードのON/OFF設定と機能ボタンの割当てを行います。



[電子ペン] チェックボックス

チェックをつけると「ペンモード」となります。電子ペンの機能ボタンが使用可能となり、電子ペン以外のタッチ操作ができなくなります。


機能ボタン

前ボタンと後ボタンに割り当てるクリック操作を設定します。ペンモードの場合にのみ有効です。


前ボタンと後ボタンのプルダウンメニューから、目的のクリック操作を選択します。

クリック操作	動作
無効	ボタンに機能がなく、先端スイッチでの左ボタンと同じです。
右ボタン	マウスの右ボタンと同じです。
中ボタン	ホイールマウスの中ボタン（ホイールを押す）と同じです。
ホイール	ホイールマウスのホイールと同じです。
ダブルクリック	マウスの左ボタンで操作するダブルクリックと同じです。
同時タッチ	タッチパネル独自の機能で、1回のタッチが同時タッチとなります。

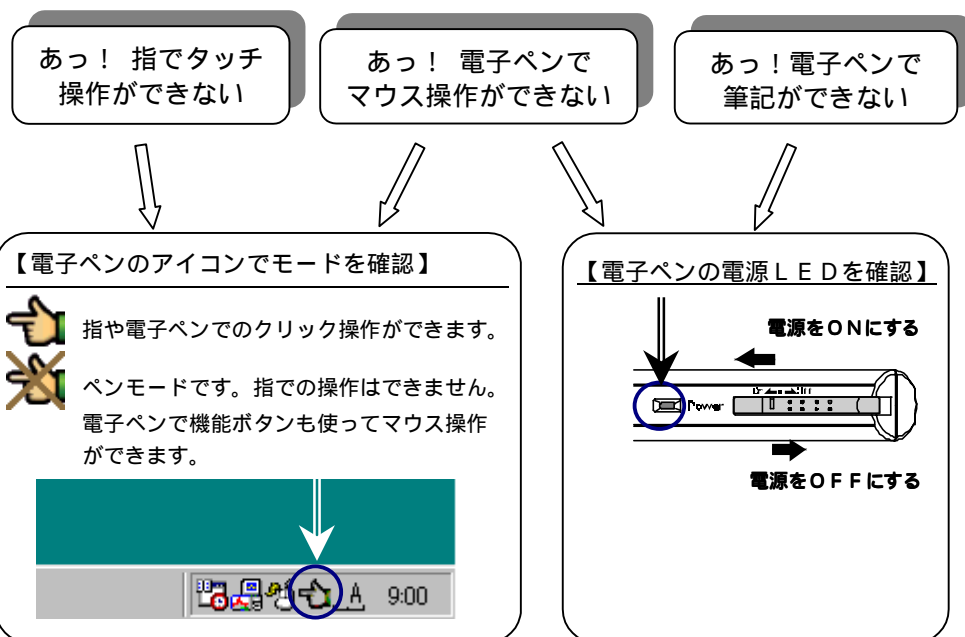
OKボタン

電子ペンにチェックをつけて[OK]ボタンを押すとペンモードとなり、タスクトレイのアイコンが()に切り替わります。

重要

PCが起動された直後は、ペンモード OFF (タスクトレイのアイコン ) に設定されます。

こんなときには



重要

- 電子ペンは、約5分間タッチ操作をしないと電源がOFFになります。
- 電子ペンは、先端スイッチが押されたとき信号を発信します。この信号を本体内の受信ユニットで受信しています。電子ペンを使用する際は、できるだけスクリーンに対して垂直に先端スイッチを押し当ててください。
- 電子ペンとワイヤレスリモコンは、同じ赤外線が使用されています。電子ペンでタッチ操作中にワイヤレスリモコンを操作すると、電子ペンの操作ができなくなります。ワイヤレスリモコンを操作する場合は、電子ペンをスクリーンから離してください。
- 手や服の袖などがスクリーンから十分離れるようにしてください。手や服の袖などがスクリーンに触れたり近づきすぎたりすると、タッチパネルで認識されて思うように操作できないことがあります。

ABCDEFGHI G

東京都港区南青山1-15-5 リコービル
tel: (03)3479-3111(代表)

2002年10月